



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2011. 9月号

プラネタリウム新番組

見えない光で宇宙をさぐる

—活躍するJAXAの天文観測衛星—

全天X線監視装置

MAXI



すざく

X線観測衛星



赤外線天文衛星

あかり

投影日：9月10日(土)～11月6日(日)までの土・日曜日

時間：(1) 午前11時 (2) 午後3時30分 ※10月1日以降は(1) 午前11時 (2) 午後2時

観覧料：200円(18歳未満・65歳以上無料)

「大切なものは、目に見えないんだよ」

サン＝テグジュペリの小説、『星の王子さま』に登場する言葉です。天文学は古来から、目に見えるものだけを観測の対象としてきました。はじめは肉眼で、そして望遠鏡で、夜空に見える光を集め、詳しく調べ、宇宙の謎を解き明かしてきたのです。ところが18世紀最後の年、W.ハーシェルによって“目に見えない光”赤外線が発見されると、紫外線、電波、X線、ガンマ線と、次々と“目に見えない光”の存在が明らかになっていきました。私たちの目に見えているものは宇宙の中のほんの一部でしかなかった…宇宙の大部分は私たちの目には見えていなかったのです。ということは、それらの光でも宇宙を観測しなければ宇宙の大部分はわからない、ということになります。まさに、「大切なものは目に見えていなかった」のです。

現代の天文学者は、ありとあらゆる光を駆使して宇宙の謎を解き明かそうとしています。しかし、目に見えない光の多くは、地球の大気にじゃまをされて地上にまで届きません。宇宙空間で観測する必要があります。そこで打ち上げられたのが数多くの天文観測衛星。それらの活躍はどのような宇宙の姿を明らかにしてきたのでしょうか？ 秋からの新番組では、JAXA(宇宙航空研究開発機構)が打ち上げた最新の天文観測衛星たちの活躍とその成果をご紹介します。

夏の博物館行事日記

平塚市博物館では毎年、夏休みの期間に子どもたちや家族で楽しく学べる行事を開催しています。今年もさまざまな行事に多くの方のご参加をいただくことができました。ここに夏の博物館行事の様子のいくつかをご報告いたします。

考古部門 考古部門では今年度「縄文土器を作ろう」と「縄文人になろう」の体験学習を実施しました。

「縄文土器を作ろう」は9名が参加しました。7月21・22日の2日間は素地の粘土をこねる作業からスタート、本物の縄文土器を手本に土器の形を作りました。約1か月間乾燥させて8月17日に野焼きで焼成して完成しました。



粘土に砂を入れて素地をこねる



暑い日の野焼きは重労働です



無事に完成した土器

「縄文人になろう」は今年度初めて実施するミッション達成型の体験学習。2種類の火起こし方法と弓矢の技術を学び、クリアすると「縄文人認定証」が発行されます。8月20日は真夏の猛暑も一段落、6名の参加者はまず弓矢のミッションを難なくクリア。「舞ギリ」の火起こしも悪戦苦闘しながらクリア。最後の難関「揉みギリ」の火起こしは『煙が確認されればOK』という特別ルールで何とかクリア。参加者全員が今年度の「縄文人認定」されました。



舞ギリの火起こしは着火すればクリア



揉みギリの火起こしは煙が出ればクリア



弓矢は2回連続的中でクリア

生物部門 生物部門では夏期特別展「いつもとちがう散歩道～まちかどの自然観察～」の関連イベントとして「自然観察さんぽ」と「葉っぱモバイルを作ろう」を実施しました。



「朝の高麗山で鳥を見よう」7月24日(日)
7時半から観察開始!写真はアオゲラの姿を追いかけているところです。



「夕方の金目川で鳥を見よう」8月21日(日)
4時から観察開始!コムドリ、ダイサギ、コチドリ、イソシギ…全部で20種観察しました。



「葉っぱモビールを作ろう」8月11日(木)
自由参加のイベントでしたが、たくさんの方が参加してくれました。



トレーシングペーパーに葉っぱをこすりだしているところです。

地質部門

地質部門では夏休みの子供向け行事として、自然観察入門講座「貝化石を調べよう」と体験学習「地形模型を作ろう」を実施しました。

「貝化石を調べよう」では、7月27日に大磯海岸へでかけ、地層に含まれている貝化石をよく観察した後、化石採集を行いました。ちょうど、曇天だったので、採集には好都合でした。翌日、採集した化石を博物館に持参し、クリーニングと整理を行い、化石から何がわかったかをまとめました。



貝化石の採集



化石のクリーニング

8月16日と19日に実施した「地形模型を作ろう」では、厚紙を重ねて、地形模型を作りました。富士山や湘南平など6つの地域から、自分が作りたい地域を選び、型紙を厚紙に貼り、切り抜いていきます。とても根気がある作業ですが、小学校4年生でもとてもきれいな模型ができあがりました。今年は相模湾の模型がとても人気でした。2日目の午後に着色して、模型を完成させ、模型からどんなことがわかるのかをまとめました。



地形模型教室



厚紙を切り抜く



完成した白い地形模型



できた模型を着色する

9月

1	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室	夏期特別展『平塚空襲展』9月4日まで	寄贈品コーナー『プラネタリアム』9月8日まで	プラネタリアム「見えない光で宇宙をさぐる」9月15日～10月27日
2	金	古文書講読会	講堂			
3	土	古代生活実験室	科学教室			
5	月	休館日		寄贈品コーナー『博物館実習生の展示』9月15日～10月27日	プラネタリアム「見えない光で宇宙をさぐる」活躍するJAXAの天文観測衛星」9月6日まで	
6	火	平塚地質調査会	工作室			
7	水	博物館実習 9/14まで	館内・館外			
8	木	石仏を調べる会	土屋	寄贈品コーナー『博物館実習生の展示』9月15日～10月27日	プラネタリアム「見えない光で宇宙をさぐる」活躍するJAXAの天文観測衛星」9月6日まで	
9	金	裏打ちの会	科学教室			
10	土	古文書講読会	講堂			
10	土	☆プラネタリアム「見えない光で宇宙をさぐる」(～11月27日)	プラネタリアム	寄贈品コーナー『博物館実習生の展示』9月15日～10月27日	プラネタリアム「見えない光で宇宙をさぐる」活躍するJAXAの天文観測衛星」9月6日まで	
10	土	相模川の生い立ちを探る会	山北町			
10	土	お囃子研究会	講堂			
12	月	休館日		寄贈品コーナー『博物館実習生の展示』9月15日～10月27日	プラネタリアム「見えない光で宇宙をさぐる」活躍するJAXAの天文観測衛星」9月6日まで	
15	木	☆博物館実習生制作展示(10/27)	寄贈品コーナー			
16	金	展示解説ボランティアの会	特別研究室			
16	金	古文書講読会	講堂	寄贈品コーナー『博物館実習生の展示』9月15日～10月27日	プラネタリアム「見えない光で宇宙をさぐる」活躍するJAXAの天文観測衛星」9月6日まで	
17	土	○自然教室	野外			
17	土	星まつりを調べる会「資料の整理」	特別研究室			
18	日	◎ろばたばなし	相模の家	寄贈品コーナー『博物館実習生の展示』9月15日～10月27日	プラネタリアム「見えない光で宇宙をさぐる」活躍するJAXAの天文観測衛星」9月6日まで	
19	月	祝日開館				
20	火	休館日				
21	水	民俗探訪会	藤沢市	寄贈品コーナー『博物館実習生の展示』9月15日～10月27日	プラネタリアム「見えない光で宇宙をさぐる」活躍するJAXAの天文観測衛星」9月6日まで	
22	木	石仏を調べる会	特別研究室			
23	金	祝日開館				
24	土	地域史研究ゼミ	特別研究室	寄贈品コーナー『博物館実習生の展示』9月15日～10月27日	プラネタリアム「見えない光で宇宙をさぐる」活躍するJAXAの天文観測衛星」9月6日まで	
24	土	平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室			
24	土	天体観察会「学習会と観察会」	科学教室・屋上			
25	日	水辺の楽校生きもの調べの会	野外	寄贈品コーナー『博物館実習生の展示』9月15日～10月27日	プラネタリアム「見えない光で宇宙をさぐる」活躍するJAXAの天文観測衛星」9月6日まで	
25	日	平塚の古代を学ぶ会	講堂			
26	月	休館日				

☆:展示・プラネタリアム ○:申込制行事 ◎:参加自由 無印:年間会員制

展示とプラネタリアム

<夏期特別展>

☆夏期特別展「いつもとちがう散歩道～まちかどの自然観察～」

会期:9月4日(日)まで

会場:特別展示室

<寄贈品コーナー>

☆寄贈品コーナー「平塚空襲展」

内容:平塚空襲に関する写真や資料を展示します。

会期:9月8日(木)まで

会場:1階寄贈品コーナー

☆寄贈品コーナー「実習生制作展示」

内容:博物館実習生が実習で制作した展示です。

会期:9月15日(木)～10月27日(木)

会場:1階寄贈品コーナー

<プラネタリアム>

☆プラネタリアム番組「見えない光で宇宙をさぐる—活躍するJAXAの天文観測衛星—」

内容:X線や赤外線といった見えない光でブラックホールや星が誕生する現場を観測する天文観測衛星「あかり」「すざく」「MAXI」の成果を紹介します。

投影日:9月10日(土)～11月6日(日)までの土・日曜日

時間:(1)午前11時 (2)午後3時30分

※10月1日以降は(1)午前11時 (2)午後2時

観覧料:200円(18歳未満・65歳以上無料)

10月

3	月	休館日		寄贈品コーナー『博物館実習生の展示』9月15日～10月27日	プラネタリアム「見えない光で宇宙をさぐる」活躍するJAXAの天文観測衛星」11月6日まで
4	火	平塚地質調査会	工作室		
6	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室		
7	金	古文書講読会	講堂	寄贈品コーナー『博物館実習生の展示』9月15日～10月27日	プラネタリアム「見えない光で宇宙をさぐる」活躍するJAXAの天文観測衛星」11月6日まで
7	金	◎星を見る会「月と秋の星空を見よう」	科学教室・屋上		
8	土	お囃子研究会	講堂		
9	日	水辺の楽校生きもの調べの会	野外	寄贈品コーナー『博物館実習生の展示』9月15日～10月27日	プラネタリアム「見えない光で宇宙をさぐる」活躍するJAXAの天文観測衛星」11月6日まで
9	日	平塚の古代を学ぶ会	講堂		
10	月	祝日開館			
11	火	休館日		寄贈品コーナー『博物館実習生の展示』9月15日～10月27日	プラネタリアム「見えない光で宇宙をさぐる」活躍するJAXAの天文観測衛星」11月6日まで
13	木	石仏を調べる会(湘南コケの会)	土屋		
14	金	古文書講読会	講堂		
15	土	古代生活実験室	科学教室	寄贈品コーナー『博物館実習生の展示』9月15日～10月27日	プラネタリアム「見えない光で宇宙をさぐる」活躍するJAXAの天文観測衛星」11月6日まで
16	日	◎相模川の生い立ちを探る会	科学教室		
16	日	◎平塚郷土史入門講座「中原御殿と近世平塚の幕明け」	講堂		
17	月	休館日		寄贈品コーナー『博物館実習生の展示』9月15日～10月27日	プラネタリアム「見えない光で宇宙をさぐる」活躍するJAXAの天文観測衛星」11月6日まで
19	水	裏打ちの会	科学教室		
19	水	民俗探訪会	鎌倉市		
20	木	○キノコの観察会	吉沢地区	寄贈品コーナー『博物館実習生の展示』9月15日～10月27日	プラネタリアム「見えない光で宇宙をさぐる」活躍するJAXAの天文観測衛星」11月6日まで
21	金	展示解説ボランティアの会	特別研究室		
21	金	古文書講読会	講堂		
22	土	地域史研究ゼミ	特別研究室	寄贈品コーナー『博物館実習生の展示』9月15日～10月27日	プラネタリアム「見えない光で宇宙をさぐる」活躍するJAXAの天文観測衛星」11月6日まで
22	土	平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室		
22	土	天体観察会「学習会と観察会」	科学教室・屋上		
23	日	考古学入門講座「測る」1	講堂	寄贈品コーナー『博物館実習生の展示』9月15日～10月27日	プラネタリアム「見えない光で宇宙をさぐる」活躍するJAXAの天文観測衛星」11月6日まで
24	月	休館日			
27	木	石仏を調べる会	特別研究室		
28	金	古文書講読会	講堂	寄贈品コーナー『博物館実習生の展示』9月15日～10月27日	プラネタリアム「見えない光で宇宙をさぐる」活躍するJAXAの天文観測衛星」11月6日まで
29	土	○自然教室「里山の休耕田生きもの調べ2昆虫」	土屋		
29	土	平塚の遺跡を歩く「土屋城と人増館」	市内		
30	日	星まつりを調べる会「特別展示物制作」	特別研究室	寄贈品コーナー『博物館実習生の展示』9月15日～10月27日	プラネタリアム「見えない光で宇宙をさぐる」活躍するJAXAの天文観測衛星」11月6日まで
30	日	○吉沢の石仏めぐり	吉沢地区		
31	月	休館日			

行事参加者募集

<申込制の行事>

○自然教室「高麗山を歩こう」

内容:高麗山から湘南平まで観察しながら歩きます。

日時:9月17日(土)午前10時～午後1時30分

場所:高麗山

定員:15人

対象:小学生以下は保護者同伴

申込:往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、9月9日(金)までに申し込む。

<自由参加の行事>

◎ろばたばなし

内容:民家のいろりばたで昔話を語ります。

日時:9月18日(日) (1)午後1時20分、(2)午後3時

場所:展示室1階「相模の家」

参加:自由

◎星を見る会「月と秋の夜空を見よう」

内容:半月すぎの月や秋の四辺形などを観察します。

日時:10月7日(金)午後7時～8時30分

場所:博物館屋上

参加:自由(雨・曇天時中止)

あなたと博物館 39巻6号 通算417号 発行 平塚市博物館 2000
 〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949
 E-Mail: info07@hirahaku.jp ホームページ http://www.hirahaku.jp/